

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-3  
高齢者福祉の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

建築住宅課長 大國 博史

電話番号

0852-22-5216

事務事業の名称	地域優良賃貸住宅整備支援事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	高齢者、障がい者、子育て世帯等への居住環境が良好な賃貸住宅の供給を促進し、県民生活の安定と福祉の増進を図る。
事業概要	公営の地域優良賃貸住宅の建設について、供給計画の審査・認定事務を行う。 既設の地域優良賃貸住宅が有効利用されるよう、入居状況の管理を行う。 地域優良サービス付き高齢者向け住宅の建設に対する補助、並びに審査・登録を行う。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 供給戸数（累計）	目標値	40.0	80.0	120.0	160.0	200.0	戸
		取組目標値						
	式・定義 供給戸数/目標戸数	実績値	63.0	93.0				%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	157.5	116.3	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	120,318	174,034
うち一般財源 (千円)	60,159	87,017

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<p>民間事業者が整備する地域優良サービス付き高齢者向け賃貸住宅は、補助事業により着実に供給戸数が増加している。</p> <p>・県補助実績 H26年度 65戸 H27年度 63戸 H28年度 30戸</p>
--

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

<p>サービス付き高齢者向け賃貸住宅の建設戸数、登録戸数は着実に増加し、平成28年度末での登録戸数は1,533戸であり、高齢者向けの住環境は少しずつ改善されてきている。</p>
--

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

<p>入居を希望されても入居出来ない者が存在すること。</p>
---------------------------------

### ②困っている状況が発生している「原因」

<p>高齢者向け賃貸住宅の戸数が不足していること、並びに地域による偏在が大きいこと。</p>
--

### ③原因を解消するための「課題」

<p>民間事業者の建設を促進するための、情報提供やPRが不足している。</p>
---

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<p>供給戸数の増加を図るため、民間事業者向けの説明会を積極的に開催し、施設整備への補助を継続する必要がある。特に供給戸数が不十分な松江市以外の地域において、周知を図る。</p>
---